



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-AI-23182C

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

<https://ecoleaf-label.jp>

キヤノン株式会社

Canon Inc.

imageRUNNER ADVANCE DX 8995i(For US)



※フィニッシャーは算出結果に
含まれません。

算定単位

製品1台あたり

算定対象段階

■最終財 中間財

原材料調達、生産、流通、使用・維持、
廃棄・リサイクル段階

製品の型式、主要仕様・諸元

型式

imageRUNNER ADVANCE DX 8995i(For US)

主要仕様・諸元

- ・複合機 (EP方式)
- ・モノクロ
- ・95枚/分(LTR)
- ・最大用紙サイズ：330 × 483mm
- ・プリント/コピー/スキャン/両面印刷/ADF(原稿自動読み込み)
- ・製品重量：約211.5kg (トナーボトルを含まない)

| | |
|---------|-----------------|
| 登録番号 | JR-AI-23182C |
| 適用PCR番号 | PA-590000-AI-07 |
| PCR名 | 画像入出力機器 |
| 公開日 | 2023年7月21日 |
| 検証合格日 | 2023年7月14日 |
| 検証方式 | システム認証方式 |
| 検証番号 | JV-AI-23182C |
| 検証有効期間 | 2028年7月13日 |

PCRレビューの実施

| | |
|------|-----------------------------|
| 認定日等 | 2023年4月24日 |
| 委員長 | 神崎 昌之 一般社団法人サステナブル経営推進機構 |

第三者検証者*

| | |
|--------------------------------|--|
| 外部検証員 | 内田 裕之 |
| ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証 | |
| <input type="checkbox"/> 内部 | <input checked="" type="checkbox"/> 外部 |

*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

問い合わせ先

キヤノン株式会社

〒146-8501 東京都大田区下丸子3-30-2 03-3758-2111 (代表)

登録番号：JR-AI-23182C



①CFP算定結果

算定単位 製品1台あたり

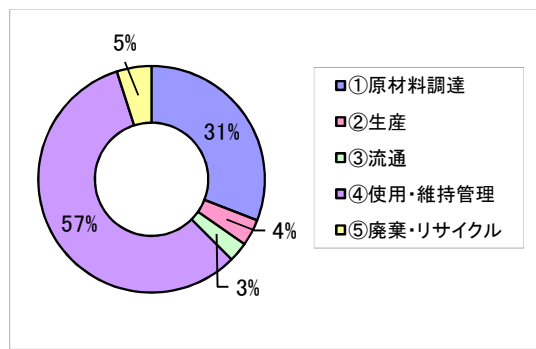
| 項目 | | 数値 | 単位 |
|----------------|-----------|----------------|----------------------------|
| CFP算定結果 | | 4700 | kg-CO₂eq |
| 内訳 | ①原材料調達 | 1500 | kg-CO ₂ eq |
| | ②生産 | 180 | kg-CO ₂ eq |
| | ③流通 | 130 | kg-CO ₂ eq |
| | ④使用・維持管理 | 2700 | kg-CO ₂ eq |
| | ⑤廃棄・リサイクル | 230 | kg-CO ₂ eq |
| 数値表示 | | 4700 | kg-CO₂eq |
| 表示単位： | | 製品1台あたり | |

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③その他の環境関連情報

- ・10種の特定化学物質の使用を禁じる「RoHS」指令に対応
- ・本製品の組立生産と主要部品の生産は、ISO14001認証取得工場で行われています。

②算定結果に関する追加情報



- ・算定結果には用紙の負荷は含まれていません。
- ・使用・維持管理段階の負荷算定において、想定使用期間は5年間、使用条件は複合機（EP方式）標準シナリオを用いて計算しました。
- ・仕向け先は米国です。
- 想定印刷枚数は 5,414,400 枚です。
- 適用したエネルギースタープログラムのバージョンは3.0プロフェッショナルです。想定印刷枚数は附属書Dの画像数に従って計算しています。

④CFP算定結果の解釈

- ・使用・維持管理段階におけるCO2排出量が57%で最も多くなりました。CO2排出量削減のためには、製品使用時の省エネ性能向上や消耗品であるドラム等の長寿命化、印刷時に使用するトナーの省量化が重要な要素だと言えます。但し、使用・維持管理段階は代表的な使用条件を設定して評価しているため、お客様の使用条件によっては結果が異なる場合があります。印刷モードや印刷条件、枚数などの使用条件の設定により、使用・維持管理段階のCO2排出量を削減できる可能性があります。
- ・原材料調達段階におけるCO2排出量が31%で2番目に多くなりました。CO2排出量削減のためには製品の小型軽量化や低環境負荷材料の使用が重要な要素だと言えます。
- ・CFP算定にあたり、原料の使用量は当社データを利用していますが、数千点におよぶ部品のデータを収集することは困難なため、原料製造時のデータは一般的な値を利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。上記の理由より、この結果は概算値としてご理解ください。

⑤使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3とSuMPO環境ラベルプログラム 登録データ及びJLCAデータv1.13を使用した。

⑥備考

-

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)
- 製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。